

山桜

H30.2.27
2月号

参観日・立志式



1年英語科授業



3年数学科授業



23日(金)は、学校参観日でした。1年生は英語、3年生は数学の授業を行い、2年生は体育館で立志式を行いました。
立志式では、立志の誓いを全員で暗唱し、一人一人が立志の決意を述べました。その後、東勇斗さんと後藤幸子望さんが代表として作文を読み上げ、大木実の「前へ」という詩の群読を2年生全員で行いました。さらに決意を新たにしましたようです。「前へ」の

『前へ』

大木実

少年の日読んだ『家なき子』の物語の結びは、
こういう言葉で終わっている。

「・・・前へ。」

僕はこの言葉が好きだ。

物語は終わっても、僕らの人生は終わらない。
僕らの人生の不幸は終わりが無い。

希望を失わず、つねに前へ進んでいく、物語の
なかの少年ルミよ。
僕はあの健気(けなげ)なルミが好きだ。

辛(つらい)なこと、厭(いや)なこと、哀(かな)しい
ことに、出会うたび、
僕は弱い自分を励(はげ)めます。

「・・・前へ。」

詩は、学活の時間等を利用して全員で毛筆に
よる清書をし、体育館保護者席の後方に掲示
しました。

後半は佐土原で自動車整備工場を経営され
ている岡林フェンダー社長、岡林直之氏に講
演していただきました。中学時代の経験など
をもとにした話は大変熱く、「人間力を磨
け」とメッセージを送っていただきました。

県立一般入試志願状況

26日(月)、県立高校一般入試の手続きが
終わり、志願状況が出されました。これを
もって、いよいよ3年生はラストスパート
ということになりそうです。倍率が高くて
も低くてもこれから先はやるべきことをや
るしかありません。

「人事を尽くして天命を待つ」：最後の最
後まで力を尽くして取り組みましょう。

学年末テスト終了

14・15・16日(水木金)の3日間で、学
年末テストが行われました。定期テストは
これが最後でした。それぞれの教科からテ
スト結果が渡されたと思います。なぜ間違
ったのか、しっかりと復習して、次のステッ
プに向けて進みましょう。

PTA役員引継

3月を迎えるにあたり、次年度PTA役
員の選考が行われています。本年度の役員
の方々はもう少し活動が続きますので、よ
ろしく願います。本日、新旧役員と職
員を交えての引継を行いました。

卒業式の花

3月16日(金)
は第71回の卒業

証書授与式です。現在、式場を飾るための花の準備を進めています。プル横の部屋棟前に、パンジー、ペチュニア、ガゼニアの苗が並べられています。2月の下旬に1年生が中心となって、400あまりの株を植え替えました。パンジーは元気に花を咲かせていますが、ペチュニアの花の芽がなかなか出てきません。本番前にきれいな花を咲かせてくれることを願って、水やりを行っています。春が待ち遠しいですね。



あいさつ運動



生徒会主催のあいさつ運動は「1」の付く日に実施されています。今月1日はあいにくの雨。ボランティアで集まった生徒たちは、広くなった生徒玄関ホールに集合して、室内でのあいさつ運動を行いました。寒い朝でしたがたくさん生徒が集まりました。

正門工事終了



夏休み前の井戸撤去作業から始まった道路拡張工事ですが、先週の道路舗装工事終了をもって、全ての工程が終わりました。工事期間中は保護者の皆様にも大変ご迷惑をおかけしましたが、ようやくの完成です。今後も安全運転へのご協力をお願いします。道路が広くなったことで、スピードを出して通過する車を心配しています。来校の際には十分ご注意願います。

- 1日(火)・・・あいさつ運動
- 6日(水)・・・県立一般入試(6・7日)
- 7日(木)・・・リフレッシュデー
- 9日(金)・・・送別遠足
- 15日(木)・・・卒業式予行、リフレッシュデー
- 16日(金)・・・第71回卒業式
- 20日(火)・・・大清掃
- 26日(月)・・・修了式
- 29日(木)・・・離任式



【子育てワンポイントアドバイス】「子離れの準備」日本の民法では、成人は二十歳から。ところが、二十歳になつたからといって、独り立ちができるかといえ、そうでないのが現状です。子どもが自立するためには、親の側にも子どもを自立させる準備が必要です。「うちの子は、何もできないから心配だ」「うちの子は、まだ子どもだから」と言つて、子どもを手放さない親の中には、「我が子が、生きがい」「我が子が、すべて」といったタイプが多くいます。何でも子どものやることを先回りし、子ども中心の生活を作り上げ、子どもが不自由な思いをしなくてもすむように日夜努力している親も案外多く目につきます。多少、危険が伴つても、自分で判断できる中学生時代です。子どもを信頼して、様々な体験をさせ、責任を持った行動をさせることが大切です。親が手を出したり、口を出したりしたくなるでしょうが、じつと見つめていること。これが、子離れの第一歩です。